

工事進行状況はどうなっているのでしょうか。

同じく、県道香六・川合線地内のバイパス工事につきまして、一部用地買上げ等着手され、測量も進んでおるとお聞きしますが、長大橋だけでも3ないし5ヶ所計画とのこととありますが、国の財政事情を考慮いたしましても現実味のない計画ではないでしょうか。

また、現道改良等を考え直してはとの意見も多いわけでありますが、町としての対応はどのように今後進まれるか、お聞きしたいと思います。

また、美東峠平付近の改良工事についても、現道より対岸に、それも大きな橋をかけて渡るということとございますが、一部橋台の用地は買上げ済みでございますけれども、その場所におきましても、我々いつも通っておりますけれども、魔の場所とも言われ、大変危険な場所でございます。こんなところに地上高30メートル以上の橋が2ヶ所施工されましたとしても、冬季間、安全な通行が可能であるかどうか大変疑問であります。これらの場所についても、現道拡幅等を行うことで解消できるのではないのでしょうか。それの一つお伺いを申し上げます。

何よりも安全第一、かつ財源的にも明るい見通しのついた御答弁をお願い申し上げます。

答 宗宮孝生町長

主要地方道春日・揖斐川線改良工事につきましては、議員は旧春日村の議員でございます、今の質問も平成16年3月に春日村で質問をされております。それ以後、あまり動いておらないという御指摘でございますが、そういった面の中で、特に御指摘の下ヶ流地内の工事につきまして、県において、御承知のように平成12年度に着工がなされております。現在、約50%まで工事が進んでまいりました。県の土木費の予算の縮小もございまして、御指摘のように本当に全面開通になるのは何年かかるかということとございまして、これについては、かねてからお話をしておりますように、国の予算状況、県の予算状況といったものも加味し、新揖斐川町として重要箇所ということの位置づけは変わってまいりませんが、そうした予算配分を考慮しておかなければならないと思っております。

県におきましても、線形、あるいは工法を再考し、一年でも早く完成をしようという検討がなされております。今後も継続して、県に対して強く要望をしてみたいと考えております。

香六地内から川合地内のバイパス工事につきましては、現道は急峻な地形で、相当な難工事が予想され、利便性においても新たなバイパス工

事が必要であるとは思いますが、当面、現在の狭小区間である香六から小宮神までの汁タレ地区を部分的に改良すべく、優先して調査測量をいたしました。実施設計、丈量測量が済んでまいりましたので、年度内には用地をお願いし、補償手続をいたしまして進めてまいりたいと考えております。平成18年度には工事が着手され、早期完成に向けて、県に対して、この汁タレ地区の工事を早く完了するように要望してまいりたいと思っております。

また、美東地内の峠平付近改良工事につきましては、今、議員御指摘のとおりでございます。ですが、議員の御指摘になりました地域住民の意見、あるいはこんな高架なものやらんという発言でございましたので、今後、地域の皆さん、あるいは春日地域の皆さんとよく相談をし、協議をし、今後の方向については県等も含めて検討をしてみたいと思っております。

小倉昌弘議員

問 アスベスト対策について

揖斐川町が所有する建物の調査の結果、吹きつけアスベストが使用された確率が高い施設は、17施設あったそうです。そのうち16施設については、主に機械室など頻繁に立ち入

らないところで、当面、職員が防塵マスクをするなどの対策で注意をしていくということでしたが、もう1箇所、旧横蔵小学校の体育館については、防音などのため天井などが穴あきのボードになっており、アスベストが飛散するおそれがあります。吹きつけアスベストが使用された確率が高い17施設について、調査結果を待つて最善の対策を実施するということですが、特にこの子供たちが集まる旧横蔵小学校については早急に対策をとる必要があると思っておりますが、町長はいかがお考えでしょうか。

答 宗宮孝生町長

アスベストについて、特に旧横蔵小学校のアスベスト対策を重点に御質問をいただきました。

機械室と体育館は吹きつけのアスベストが使われております確率が高い施設でございます。機械室については、現在までの施設につきましては、使用しないよう施設して管理をしておりますが、この施設の体育館につきましては、当施設の利用者や、横蔵地域の方々の軽スポーツに御利用をいただいております。

その後、アスベスト問題が出てきました。体育館の使用を禁止させていただきます。横蔵小学校は、議員御指摘のように、平成15年3月に谷汲小学校との統合によって閉校になりました。